

岡山県立倉敷天城中学校

「サイエンス」「グローバル」 「AMAKI学」から課題研究へ

～本物に触れ、本物に学び、自分の可能性を広げよう～

取組等の概要



インタープリター研修
(2019年5月29日：川崎医科大学現代医学教育博物館)



横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校との課題研究でのSkypeを用いた交流
(2019年5月17日：本校)



課題研究発表会（2019年3月2日：本校サイエンス館）

倉敷天城中学校では、確かな学力とともに、課題解決能力、表現力などを身につけさせる学習活動の一環として、2007年の開校以来「課題研究」に取り組んでいます。「課題研究」につなげる取組として「サイエンス」「グローバル」「AMAKI学」という他の中学校にはない独自のプログラムを行っています。その一つの「サイエンス」は学校独自教科として、イギリスのキングスカレッジ校でつくられた「CASE(ケース)プログラム」を使って授業を行い、科学的に考える力を段階的に高めていきます。また、「グローバル」では、つくば言語技術教育研究所がドイツの母国語教育システムを参考に開発した「言葉のワークブック」を使い論理的文章力、論理的プレゼンテーション技術の向上を目指して授業を行います。思考を論理的に組み立て相手が理解できるようにわかりやすく表現する方法を学ぶことで、これからの国際社会に対応できる言語技術能力を伸ばし、国際的な言語センスを身につけます。「AMAKI学」では、「岡山調べ」「職場体験」「学部・学科調べ」を通して、豊かな経験を積みながら調べたことを発表することで自分の「適性」について深く考えていきます。

こうした取組の成果として、ボランティアスピリットアワードではブロック賞、ボランティア・スピリット賞を受賞、倉敷市長杯G7倉敷子どもサミット宣言記念中学校英語スピーチコンテスト2018では優勝などの成果を収めています。